**迫　昭嘉（ピアノ／指揮）  
Akiyoshi Sako, Piano/Conductor**

東京藝術大学及び東京藝術大学大学院、ミュンヘン音楽大学マイスタークラス修了。中山靖子、クラウス・シルデ各氏に師事。東京藝術大学大学院にてクロイツァー賞を受賞、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝（1980）、ハエン国際ピアノコンクール優勝およびスペイン音楽賞（1983）、ABC国際音楽賞受賞（1998）。

デビュー以来、気品ある音色と透明度の高いリリシズムを持つピアニストとして、日本はもとより海外でもソロ、オーケストラとの共演のほか、室内楽奏者としても内外の一線で活躍する演奏家達と数多く共演し、いずれも高い評価と信頼を得てきた。

2001年1月～12月に神戸新聞松方ホール、東京・第一生命ホールで行われた「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲チクルス」（全8回）は大きな反響を呼んだ。これはカメラータ・トウキョウによるライヴレコーディングで、『迫昭嘉・ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集』としてリリース。「ドイツ・ピアニズムの本流を継承する名手」と評価され、全てのディスクが『レコード芸術』誌で特選盤・推薦盤に輝くなど名演奏の呼び声が高い。近年浜離宮朝日ホールでのリサイタルでは、彼の原点とも言えるベートーヴェンから、バッハ、リスト、グラナドスの作品まで披露、「演奏への喜びが強く感じられ、暗く深刻な曲想にあってもそれを美しく昇華し聴き手を癒した」との賛辞を得た。2015年12月より白寿ホールにて2台ピアノによるベートーヴェン（リスト編曲）の第九とそれに関連した作品を演奏する「迫昭嘉の第九」公演をスタート、2023年12月「迫昭嘉の第九 vol.7」で好評のうち終了した。また近年は指揮者としての活動も注目を集めている。

元東京藝術大学理事・副学長、音楽学部教授、東京音楽大学特任教授、洗足学園音楽大学大学院客員教授、エリザベト音楽大学客員教授。

（以上、754字）

東京藝術大学及び東京藝術大学大学院、ミュンヘン音楽大学マイスタークラス修了。中山靖子、クラウス・シルデ各氏に師事。東京藝術大学大学院にてクロイツァー賞を受賞、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝（1980）、ハエン国際ピアノコンクール優勝およびスペイン音楽賞（1983）、ABC国際音楽賞受賞（1998）。

デビュー以来、気品ある音色と透明度の高いリリシズムを持つピアニストとして、日本はもとより海外でもソロ、オーケストラとの共演のほか、室内楽奏者としても内外の一線で活躍する演奏家達と数多く共演し、いずれも高い評価と信頼を得てきた。

2001年1月～12月に神戸新聞松方ホール、東京・第一生命ホールで行われた「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲チクルス」（全8回）は大きな反響を呼んだ。これはカメラータ・トウキョウによるライヴレコーディングで、『迫昭嘉・ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集』としてリリース。「ドイツ・ピアニズムの本流を継承する名手」と評価され、全てのディスクが『レコード芸術』誌で特選盤・推薦盤に輝くなど名演奏の呼び声が高い。2015年12月より白寿ホールにて2台ピアノによるベートーヴェン（リスト編曲）の第九とそれに関連した作品を演奏する「迫昭嘉の第九」公演をスタート、2023年12月「迫昭嘉の第九 vol.7」で好評のうち終了した。また近年は指揮者としての活動も注目を集めている。

元東京藝術大学理事・副学長、音楽学部教授、東京音楽大学特任教授、洗足学園音楽大学大学院客員教授、エリザベト音楽大学客員教授。

（以上、652字）

東京藝術大学及び東京藝術大学大学院、ミュンヘン音楽大学マイスタークラス修了。東京藝術大学大学院にてクロイツァー賞を受賞、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝（1980）、ハエン国際ピアノコンクール優勝およびスペイン音楽賞（1983）、ABC国際音楽賞受賞（1998）。

デビュー以来、気品ある音色と透明度の高いリリシズムを持つピアニストとして、日本はもとより海外でもソロ、オーケストラとの共演のほか、室内楽奏者としても内外の一線で活躍する演奏家達と数多く共演し、高い評価と信頼を得てきた。

2001年に神戸新聞松方ホール、東京・第一生命ホールで行われた「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲チクルス」（全8回）は、カメラータ・トウキョウによるライヴレコーディングで、『迫昭嘉・ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集』としてリリース。「ドイツ・ピアニズムの本流を継承する名手」と評価され、全ディスクが『レコード芸術』誌で特選盤・推薦盤に輝いた。2015年12月より白寿ホールにて2台ピアノによるベートーヴェン（リスト編曲）の第九と関連作品を演奏する「迫昭嘉の第九」公演をスタート、2023年12月「迫昭嘉の第九 vol.7」で好評のうち終了した。また近年は指揮者としての活動も注目を集めている。

元東京藝術大学理事・副学長、音楽学部教授、東京音楽大学特任教授、洗足学園音楽大学大学院客員教授、エリザベト音楽大学客員教授。

（以上、594字）

東京藝術大学大学院にてクロイツァー賞を受賞、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝（1980）、ハエン国際ピアノコンクール優勝およびスペイン音楽賞（1983）、ABC国際音楽賞受賞（1998）。

気品ある音色と透明度の高いリリシズムを持つピアニストとして、ソロ、オーケストラとの共演のほか、室内楽奏者としても内外の一線で活躍する演奏家達と数多く共演し、高い評価と信頼を得る。

2001年の「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲チクルス」（全8回）は、ライヴレコーディングで、『迫昭嘉・ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集』としてリリース。全ディスクが『レコード芸術』誌で特選盤・推薦盤に輝いた。2015年12月より白寿ホールにて2台ピアノによるベートーヴェン（リスト編曲）の第九他による「迫昭嘉の第九」公演をスタート、2023年12月「迫昭嘉の第九 vol.7」で好評のうち終了した。また近年は指揮者としての活動も注目を集めている。

元東京藝術大学理事・副学長、音楽学部教授、東京音楽大学特任教授、洗足学園音楽大学大学院客員教授、エリザベト音楽大学客員教授。

（以上、464字）

(2024年4月現在)

**ＫＡＪＩＭＯＴＯ** 担当：原澤曜子

東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5F

Tel：03-3574-0969／Fax：03-3574-0980